

叙勲 おめでとうございませす

瑞宝双光章



飯田 修さん (長須)

昭和54年8月から平成28年3月末までの36年8か月、神大実郵便局の局長として勤務され、その間、岩井部会副部会長(7年間)、部会長(2年間)を歴任。局長在任中は、保険業務、営業に力を入れ、全社員一丸となり迅速的確な事務手続きで、お客さまの求めている商品を提供することにより、保険優績局として表彰されました。また、茨城県西部地区連絡会の副統括等(10年間)を務め、保険・防犯・総務担当として会内から法令遵守違反を出さないため、社員の意識向上に尽力するなど、長年にわたり、地域郵政事業の発展などに大きく貢献されました。

瑞宝双光章



石塚とみ子さん (弓田)

昭和51年から現在に至るまでの45年間、七重小学校の学校薬剤師として、環境衛生活動を積極的に実践し、児童の健康保持増進に大きく貢献されています。その間、幼稚園及び小中・高校など10校園の学校薬剤師を歴任され、環境衛生検査などについて薬剤師の視点から適切な助言指導を実施。平成31年に日本薬剤師会「日薬有功賞」、令和元年には学校保健功労者として「文部科学大臣表彰」を受賞。現在も、学校薬剤師として児童が健康で安全に学習活動に励むことができるよう、学校環境衛生の向上に尽力されています。

瑞宝双光章



樋崎成俊さん (みむら)

平成元年に茨城農芸学院(少年院・牛久市)の教誨師(少年院・牛久市)の教誨師に任命され、現在に至るまでの32年間の長きにわたり、宗教教誨を通して被収容者の改善更生と社会復帰に大きく寄与されています。樋崎さんは、「被収容者との面接では、先ずつながりを深め、お互い遠慮のない腹を割った話し合いができる関係性を育むことが大切です。そして、刑に服する間に、自分が起こした事件の重大性に気づくと同時に、自分や傷つけ排除した相手も等しく『誰にも代わることの出来ない』のち(壽)を生きていくことに目覚めてもらうことが私の願いです」と話されています。

こどもを守る110番の家をご存知ですか？

最近、市内において次のような不審者情報が増えています。

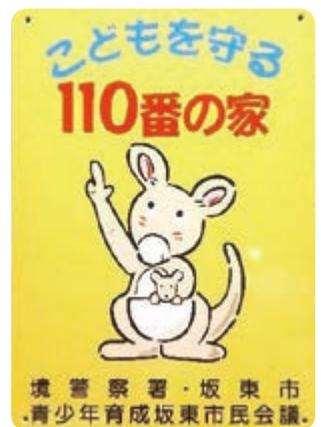
- 見知らぬ人に写真を撮られた
- あいさつをしたら、「家まで連れて行ってほしい」と言われた
- 前方に回り込み、急に奇声を上げられた など

このような状況から子どもたちを守るためには、いつも大人の「目」が子どもに向いている地域づくりが大切です。

「こどもを守る 110 番の家」は、知らない人から「声かけ」、「痴漢」、「つきまとい」などの被害を受けたときに、助けを求めて逃げ込むための場所として設置されています。市内登録件数は、現在 1,621 件あり、新たに 110 番の家にご協力いただける方や団体なども募集しています。

もしもの時に備えて、お子さんの通学路などに設置されている 110 番の家の場所をご家族で確認してみましよう。お近くの 110 番の家の場所が分からない場合は、各小中学校または生涯学習課までお問い合わせください。

■お問合せ 生涯学習課 ☎0297(21)2204



「こどもを守る 110番の家」

子供たちを保護し、警察や学校等への通報を行います。黄色い看板が目印です。